

作成日 2019年 5月 7日
改訂日 2019年10月 9日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : 業務用 トップNANOX 衣類・布製品の除菌・消臭スプレー
供給者の会社名称 : ライオンハイジーン株式会社
住所 : 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル6階
担当部門 : 企画開発部 第1研究所
電話番号 : 03-3616-3159
FAX番号 : 03-3616-3208
緊急連絡電話番号 : 03-3616-3159
製品の用途 : 衣類・布製品用除菌・消臭剤
整理番号 :

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

爆発物 : 分類対象外
可燃性又は引火性ガス : 分類対象外
(化学的に不安定なガスを含む)
エアゾール : 分類対象外
支燃性又は酸化性ガス : 分類対象外
高压ガス : 分類対象外
引火性液体 : 区分3
可燃性固体 : 分類対象外
自己反応性化学品 : 分類対象外
自然発火性液体 : 区分外
自然発火性固体 : 分類対象外
自己発熱性化学品 : 分類できない
水反応可燃性化学品 : 区分外
酸化性液体 : 区分外
酸化性固体 : 分類対象外
有機過酸化物 : 分類対象外
金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
急性毒性(経皮) : 分類できない
急性毒性(吸入:気体) : 分類できない
急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵及びミスト) : 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 区分1
特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 分類できない
特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 分類できない
水生環境有害性(長期間) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

- 危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気
強い眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 注意書き
安全対策 (予防策) : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 ー 禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後はよく洗うこと。
- 応急措置 (対応策) : 皮膚または髪に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクト レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 保管 (貯蔵) : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
- 廃棄 : 内容物/容器を許可を受けた産業廃棄物業者に委託し、関連法規等を順守し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び濃度

化学名	濃度 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
エタノール	0~10	2-202	64-17-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動し、安静にする。異常があるときは医師に相談する。
- 皮膚に付着した場合 : 早期に水で洗浄する。異常があるときは医師に相談する。
- 眼に入った場合 : こすらずに、すぐ水で目を十分に洗浄する。異常があるときは医師に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水を飲ませる。異常があるときは医師に相談する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡、炭酸ガス
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意すること。
- 特有の消火方法 : 燃焼源の供給を速やかに止めること。
消火作業は、風上から行なうこと。
関係者以外は安全な場所に退去させること。
周囲の設備等に散水して冷却すること。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用すること。
消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避けること。
燃焼又は高温により有毒なガス(一酸化炭素)が生成するので、呼吸保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具 及び緊急時措置 : 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用し、皮膚に付かないようにする。
多量の場合、人を安全に退避させること。
こぼれた場所はすべりやすいために注意すること。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。

- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合は、吸着剤(土・砂・乾燥砂、ウエス等)に吸着させ、密閉できる空容器に回収して取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取ること。
大量の場合は、土砂等で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理すること。スコップまたは吸引機などで空容器に回収すること。
- 二次災害の防止策 : 漏出物の上をむやみに歩かないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 (局所排気・全体換気等) : 換気のよい場所で使用する。必要に応じ局所排気装置や洗眼設備を設置する。状況により、保護眼鏡・ゴム手袋・保護具等を着用して、眼や皮膚を保護する。みだりに火気その他の点火源となる恐れのあるものを接近させない。
必要に応じ局所排気装置や洗眼設備を設置する。
- 安全取扱注意事項 : ラベルの注意事項を参照する。
- 接触回避 : 技術的対策を参照。
- 衛生対策 : 取り扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

保管

- 安全な保管条件(適切な技術対策, 及び混触禁止物質との分離) : 換気のよい、直射日光の当たらない屋内に保管する。
- 保管条件(適切な保管条件及び避けるべき保管条件) : 密閉して、高温や低温、直射日光を避け室温で保管する。
- 安全な容器包装材料(推奨材料及び不適切材料) : プラスチック、ガラスや鉄、アルミニウム等の金属が使用できる。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度-日本産業衛生学会 : 設定されていない。(2018年度版)
- 許容濃度-ACGIH : エタノール TLV-STEL:1000ppm(2018年度版)
- 設備対策 : 局所排気装置および洗眼装置の設置が好ましい。
- 呼吸用保護具 : 保護マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、ゴム長靴等

9. 物理的及び化学的性質

- 外観(物理的状態, 形状, 色など) : 異物がなく無色～淡黄色透明液体
- 臭い : 芳香がある。
- pH : 3.5～5.5(原液、25℃)
- 融点・凝固点 : 凝固点:0℃以下
- 沸点, 初留点及び沸騰範囲 : 沸点:約100℃
- 引火点 : 46.8℃(タグ密閉式)
- 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし
- 比重(相対密度) : 0.991(20℃)
- 溶解度 : 水に任意に溶ける。
- その他のデータ : 粘度5mPa・s以下

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : データなし
- 化学的安定性 : 通常の条件では安定である。
- 危険有害反応可能性 : 禁水性物質と反応して、発火もしくは可燃性ガスを発生する。
- 避けるべき条件 : データなし
- 混触危険物質 : 禁水性物質
- 危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

- 急性毒性(経口) : (製品のデータ)
LD50>2000mg/kg(急性毒性推定値)

	(成分のデータ)
	エタノール:LD50=8300mg/kg【OECD SIDS※Initial Assessment Report For SIAM 19(2004)】
	本剤の0.2%は毒性が未知の成分からなる。
急性毒性(経皮)	: データなし
急性毒性(吸入:気体)	: データなし
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: (製品のデータ) データなし (成分のデータ) エタノール:皮膚刺激性なし【OECD SIDS※Initial Assessment Report For SIAM 19(2004)】
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: (製品のデータ) データなし (成分のデータ) エタノール:区分2B【社内データ】
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: (製品のデータ) データなし (成分のデータ) エタノール:ヒト疫学データで生殖毒性が認められる【DFGOT※Vol.7(1996)】
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: データなし
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
12. 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 内容物を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄する。
汚染容器及び包装	: 空の汚染容器包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	: 陸上輸送:RID(欧州危険物鉄道輸送規則)、ADR(欧州危険物道路輸送協定)に従う。 海上輸送:IMDG(国際海上危険物規則)に従う。 航空輸送:ICAO-TI(国際民間航空条約技術指針)/IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則)に従う。
国連番号	: 該当しない
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	: 該当しない(燃焼持続性なし(組成より判断))
特別の安全対策	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
国内規制-陸上輸送	: 消防法、毒劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている輸送方法に従う。
国内規制-海上輸送	: 船舶法に定められている輸送方法に従う。
国内規制-航空輸送	: 航空法に定められている輸送方法に従う。
15. 適用法令	
消防法	: 非危険物
労働安全衛生法	: 表示対象物(エタノール)に該当する。 通知対象物(エタノール)に該当する。

毒物及び劇物取締法 : 該当しない。
化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない。

16. その他の情報

引用文献 : OECD SIDS:OECE Screening Information DataSet, 経済協力開発機構
DFGOT:Occupational Toxicants Critical Data Evaluation for MAK Values and Classification of Carcinogens(ドイツ学術振興会編)

その他 : 分類に用いたガイダンス名 :
・事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版(Ver.1.1)),平成27年3月,経済産業省
・JIS Z 7252:2014

「記載内容の取扱い」

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見取り方を対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。